

2018年12月10日

日本のまんなか意識調査

『愛知県交通死亡事故に関する意識調査』

**愛知県民の76%は、交通事故死者数が
15年連続全国ワーストという事実を知っていた！
しかし、対策に対する認知は、不十分。**

愛知

交通死亡事故

サヨナラ 15

安全

12月は飲酒運転による交通事故や、歩行者の事故死者数が最も多くなるそうです。

今回は「愛知県は交通事故死者数全国最多」からの脱却を目指し、

モバイルサイトフリモの愛知県会員を対象に調査を実施致しました。

この機会に交通事故の防止について考えてみましょう。

調査結果ハイライト

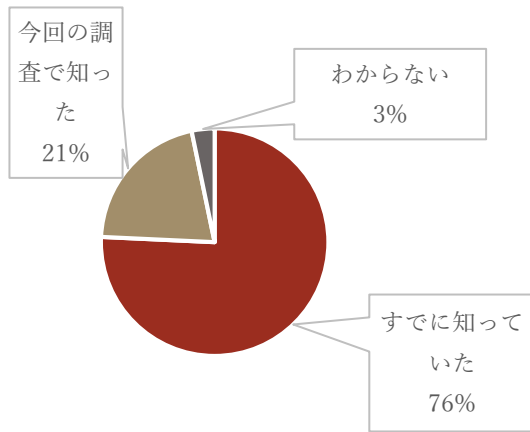
- 「愛知県は交通事故死者数全国最多」という事実は県民76%が認知している結果に。
- 運転中に心がけていることは、「子供などの歩行者への危険予測」67%、「雨天時の安全走行」と「早めの点灯」60%、「適宜徐行運転」58%、「横断歩道前の一旦停止」57%となりました。一方、「法定速度内走行」と「ハイビームの適度な使用」は半数以下にとどまります。
- 歩行中に心がけていることは、「横断中、交差点で曲がる車に注意」76%、「横断時の左右確認」74%、「歩きスマホをしない」64%となりました。一方、「横断歩道の利用」と「点滅信号で停止」は半数以下にとどまります。
- 歩行者として「明るい服装」や「反射材の使用」に対する意識は低く、特に暗くなるのが早いこれからの時期には有効です。心がけたいですね。

次頁より詳細とグラフをまとめておりますので、ご参照ください。

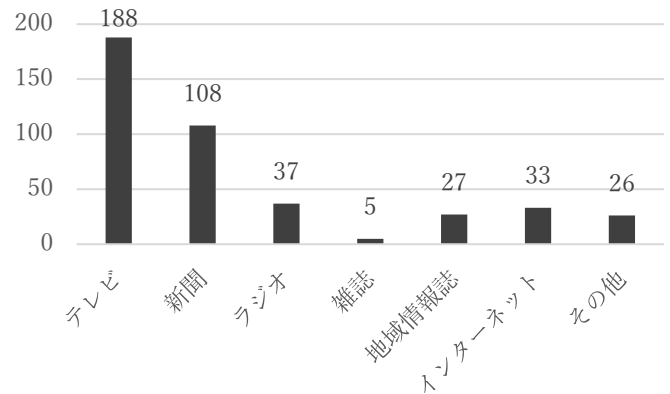
【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp

**愛知県の交通事故死者数が 15 年連続
 で全国最多であることをご存知ですか。**

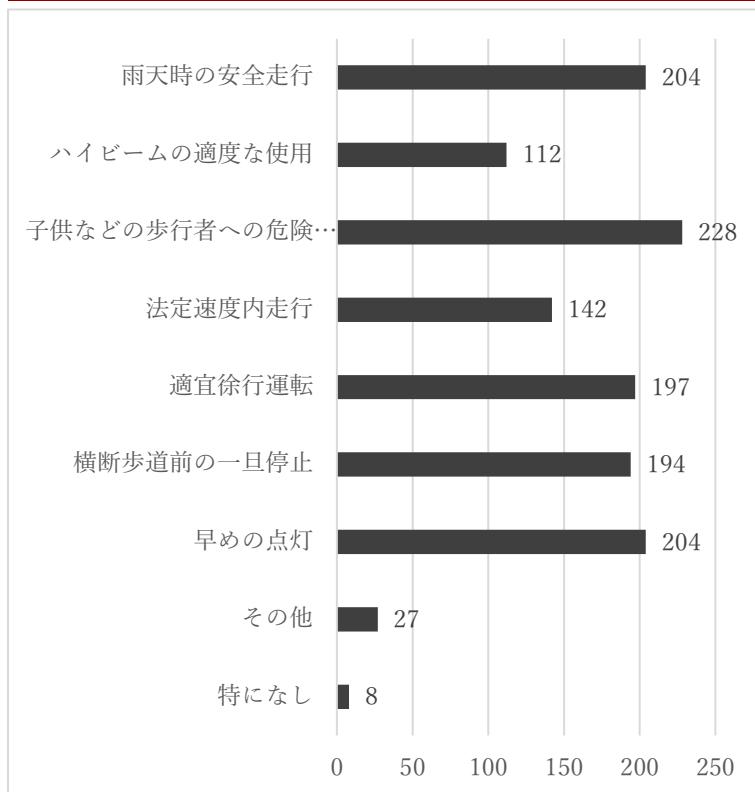


**「すでに知っていた」と回答された方は
 なにで知りましたか。**



「すでに知っていた」の回答は 76%と「愛知県は交通事故死者数全国最多」の認識度は高い。また、知っている人の多くは「テレビ」や「新聞」といったマス媒体から情報を得ており、近年のニュースや啓発に関するコマーシャルが影響しているものと見受けられる。

事故を起こさないために、運転中に心がけていることをすべて選んでください。



運転中に心がけていることは、「子供などの歩行者への危険予測」67%、「雨天時の安全走行」と「早めの点灯」60%、「適宜徐行運転」58%、「横断歩道前の一旦停止」57%となった。

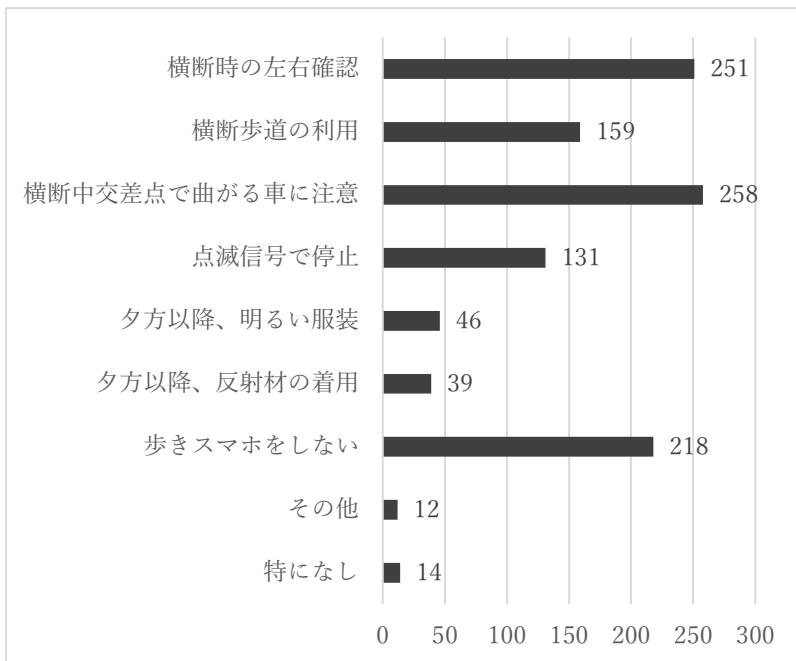
年代別では、「歩行者への危険予測」は、40代は70%に対し、30代は56%にとどまる。「適宜徐行運転」は、30代は52%、40代は55%、50代は64%であり、年齢とともに、適宜徐行する意識が高まる傾向がみられる。

一方、「法定速度内走行」に関して、30代は47%、50代は40%、60代は37%であり、法定速度内で走行する意識は若い年代の方が相対的に高い。「ハイビームの適度な使用」に関しても30代は40%、40代は31%、50代は34%であり、近年のハイビーム活用への呼びかけに若い年代が対応し始めているようだ。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
 TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

事故にあわないために、歩行中に心がけていることをすべて選んでください。



歩行中に心がけていることは、「横断中、交差点で曲がる車に注意」76%、「横断時の左右確認」74%、「歩きスマホをしない」64%となった。

「横断歩道の利用」と「点滅信号で停止」は、全体では47%と39%にとどまるものの、30代はそれぞれ52%と44%が心がけており、歩行者としての交通ルールやマナーへの意識が相対的に高いようである。

また、暗くなるのが早くなるこの時期、特に有効とされる「明るい服装」や「反射材の使用」はそれぞれ14%と12%にとどまり、全体的に意識が低い傾向がみられる。

この取り組みに対するご要望やご意見をお聞かせください。

車に乗るからその分余計に歩行者になったとき気を遣うようになった。一人一人が自分の立場に置き換えたら気を付けるようになるのでは。

車が急に止まるのは難しいので、人が車に注意を強める努力も必要だと思う

誌面の注意喚起だけでなく、参加型の体験で伝える機会が多くあればもっとみんな身に染みて行動するようになるのではと思いました。毎年ワーストで、またかと麻痺している面もあると思うので。

車の台数日本一なので事故の確率も上がると思いますが、台数日本一でも事故の少ない誇りを持てるような地域になるとよいなと思います。

ワースト1を脱却する為に、一人一人が気を付ける。また昨今、車だけでなく自転車や歩行者の運転マナーの悪さも、気を付けて欲しい。

守らない人達に対して、いかに周知徹底させるかがポイントですね

他県から引っ越してきました。赤信号のうちに発進するようなせっかちな人間の多さが目に付きます。それについての危険性の周知が出来ていないと感じました。

お年寄りに浸透するかが大変だと思う。

事故は加害者も被害者もその周りの人々も辛い思いをするので、0にしたい

なぜワースト1なのか分析した結果が知りたい

愛知県民としてワースト1はやく脱却して欲しいので協力したいです。

歩行者、自転車、自動車、いずれも『ながらスマホ』をしている人を未だに見かけます。事故だけでなく、ひったくり等の犯罪に繋がる可能性もあるので気をつけたい。ワースト1の汚名を返上できるよう心がけたいです。

中広では交通死亡事故の撲滅を目指し、全国最多の愛知県を対象に「サヨナラ15」という啓発キャンペーンを行っております。今回のアンケート調査では、キャンペーンの認知度は13%にとどまりましたが、「今回の調査で知った」が55%にも上り、交通事故の防止に対する啓発とキャンペーン周知の機会になりました。今後も「愛知県は交通事故死者数全国最多」からの脱却を目標に、啓発活動を継続していくとともに、愛知県下で発行する『地域みっちゃく生活情報誌®』にて、情報を発信してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
 TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp

アンケート概要

【調査概要】

調査：愛知県交通死亡事故に関する意識調査 調査方法：モバイルフリモアンケート
調査時期：2018年12月1日～12月2日
回答者属性：愛知県で登録済みの会員（内訳は下記の通り）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	2	22	37	47	11	1	120
女性	10	51	83	61	12	1	218
合計	12	73	120	108	23	2	338

【共同調査】

岐阜大学地域科学部 教授 三井 栄

専門：計量経済学：景気分析、数理ファイナンス、経済シミュレーション

『中部の都市を探る—その軌跡と明日へのまなざし—』（共著）風媒社(2015)

「新幹線設置に伴う地域づくり事業に対する住民意識の把握—リニア中央新幹線岐阜県駅を事例に—」
地域学研究 Vol.47No.2(2018)

【Chuco Marketing Research（中広マーケティングリサーチ）について】

「Chuco Marketing Research（中広マーケティングリサーチ）」とは、株式会社中広が運営するモバイルサイト「フリモ」の会員に対しアンケート調査を実施するアンケート組織です。結果をサービス改善や資料作成に役立てています。

【モバイルフリモ®について】

「モバイルフリモ」とは(株)中広が運営する携帯ポータルサイト。

各戸配布のハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』と連動し、1道1府16県65エリアにおいて飲食店、ヘアサロン、整体、スクール、ハウジングなど、様々なジャンルの生活情報を掲載しています。

<http://furimo.jp/>

【株式会社 中広について】

(株)中広は岐阜に本社を置く広告会社。当社は、1道1都1府13県下でメディア事業及び広告セールスプロモーション事業を展開。1978年の設立以来多くの方々に支えられ、2015年12月に東証1部、名証1部に上場致しました。メディア事業においては、ハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』を32都道府県で149誌934万部発行し(VC含む)、無料で各家庭に配布しております。また、イノベーション事業(講演会・通販・PR・フリモ・フリモAR)を展開。広告SP事業においては、スポンサーの要望に応える媒体選択、デザイン提案、販売促進策の企画運営を行っております。

社名：株式会社 中広
本社：岐阜県岐阜市東興町27番地
創業：昭和53年5月1日
上場取引所：東証・名証 第一部

代表者：代表取締役社長 後藤一俊
TEL：058-247-2511 (代)
資本金：4億430万円
HP：<http://www.chuco.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp